

防アーク面 AMP2-20HT-EC 取扱説明書

1. はじめに

本書は、防アーク面 AMP2-20HT-EC(以下本製品)を正しく安全に使い、機能を十分生かしていただくため、ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。この説明書は、読み終わった後も大切に保管してください。本製品の使用によって眼および身体への損傷の可能性がなくなることを保証するものではありません。

2. 一般的な注意事項

- ・過度に直射日光にさらしたり、溶接に使用したりしないでください。
 - ・直火にさらさないでください。
 - ・電磁放射にさらされると表面が熱くなる可能性があります。
 - ・作業場の照明が十分であることをご確認ください。
 - ・頭の自由な動きや視野が制限される場合があります。
- 輸送途中等に機能が低下するおそれがあります。必ず事前に点検してください。

3. 適用範囲

本製品は、規格に適合した個人用防護具と合わせて使用することで、通電中の電気工事や活線作業、あるいは通電部品近くで作業にあたる際に、作業者を保護します。本製品の保護は、眼と顔のみを対象としています。

警告



- ① 上記以外の用途に使用しないでください。
- ② 衝撃を受ける作業には使用しないでください。面体が破損し事故の原因になります。
- ③ 作業中に防アーク面をはずしたり、上部に面体をはね上げないでください。
- ④ 熱現場には耐熱面をご使用ください。

4. 製品説明

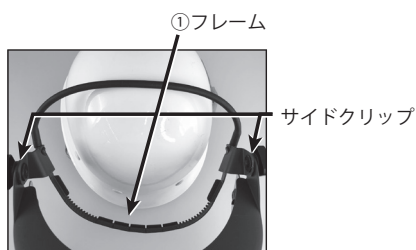
本製品は、顎プロテクター付き面体とヘルメット取り付け用フレームからなります。面体とフレームを正しく取付した上で、規格に適合した保護具(保護帽)と合わせて装着することで、アークフラッシュから眼と顔を保護する目的のみで使用いただけます。

5. 取り付け方法

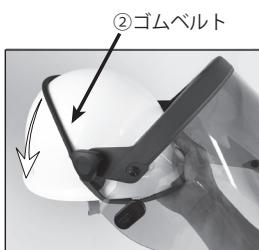
一般事項：

本製品は、保護帽(電気用)に取り付けてください。ご不明な点は、ヘルメットメーカーにお問い合わせください。ピボットネジを締め付け、面体を簡単に上げ下げし、どの位置でも確実に止められるようにします。

保護帽への取り付け：



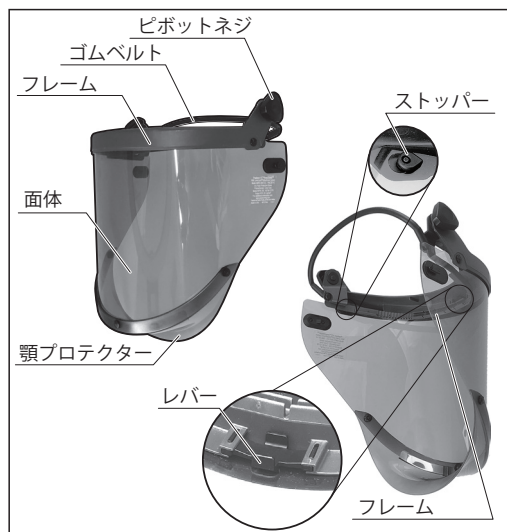
本製品の①フレームを保護帽の前部の中心に合わせます。



②ゴムベルトを後方に引っ張ります。



フレームが中心に配置され、保護帽の縁がぴったりとはまっていることを確認してください。



- ・ヘルメット底先端を中心部に合わせ、差込口のフレーム溝にしっかりとめ込んでください。
- ・レンズ保持している両サイドクリップ(左(ラチェットワッシャーなし)、右(ラチェットワッシャー付)は機構が違います)左部クリップを閉めこみ、右部クリップは上下稼働できる程度で閉めてください。

6. 使用上の注意

ご使用前に必ず点検してください。

- ・フレームが固定されていることを確認してください。必要に応じてフレームの位置を調整してください。

注 意



- ①保護めがねを併用する必要がある場合があります。
- ② アークフラッシュにより、眼および身体等への障害につながるおそれがあります。
面体が確実に固定され、指定位置にある場合のみ、効果が得られます。
鼻や頭部および顔の他の部分がシールドの内側表面に接触しないようにしてください。
- ③作業環境に応じて、照明を追加する必要があるかどうか確認してください。人工照明、特に蛍光灯やLEDランプなどの照明と本製品の着色が重なることにより、色認識能力に影響を与える場合があります。
- ④本製品は、アークフラッシュの機械的および熱的危険から眼と顔を保護する目的で設計されています。
しかしながらこれは、眼鏡、その他の眼および顔用個人用防護具、あるいは危険リスク分析ならびに特定の作業場における特別作業安全規則に沿った十分な保護に必要なその他の個人用防護具の代用となりうるものではありません。個人用防護具が相互に適合していることを確認してください。

7. お手入れ方法

本製品は、使用の前後に汚れを落とし、点検を行ってください。

- ①軽い汚れは、湿らせた布でふいてください。
- ②さらに汚れを落とす必要がある場合は、水で洗い、軽くたたくようにして水気を取ってください。
 - ・お手入れの際には、必要に応じて面体をフレームから外してください。
 - ・ご使用になる前に、面体をフレームに正しく取り付けなおしてください。
 - ・本製品には、曇り止めが施されています。キズや汚れは防曇効果が低下する場合があります。防曇面に汚れが付着した際には柔らかい布等で軽く拭き取ってください。

8. 保管方法

本製品は、直射日光および紫外線のあたらない、清潔で乾燥した環境で保管してください。
保管温度は0℃～35℃とします。

9. 交換時期

以下に該当する場合、本製品を交換する必要があります。

- ・傷や破損が生じた場合
- ・化学薬品、油、潤滑剤にさらされた場合
- ・高熱または日光に過度にさらされた場合
- ・アークフラッシュにさらされた場合
- ・機械的衝撃により破損した場合
- ・火にさらされた場合

10. 組立方法

フレーム内側中心部のレバーはロックメカニズムとして機能します。
以下の手順に従って取り外してください。

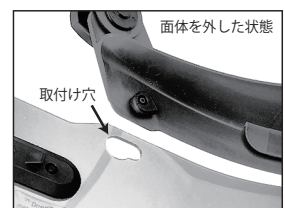
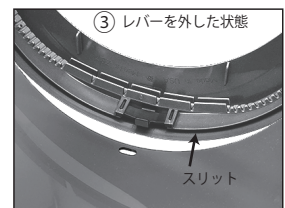
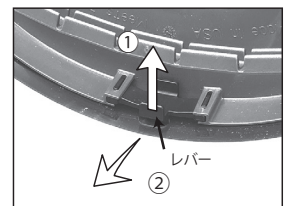
取り外し方法：

- ・フレームを片手で持ち、フレーム内側のレバーに指をかけます。
- ・面体を外すには、面体をもう一方の手で押し下げ、レバーを引き上げます(①)
面体はこの位置でのみ外すことができます(②)
前から見た場合、面体とフレームの間に隙間があり面体両側はまだフレームとつながっている状態となります(③)。
- ・片側を片手で支え、フレーム側をもう一方の手でストッパーから面体側面の取り付け穴から外します。(④)
- ・反対側で繰り返します。

注意：面体から顎プロテクターを取り外さないでください。

取り付け方法：

- ・面体をフレームに取り付けるには、フレームの片面のストッパーを対応する面体側面にある取付け穴に押し込み、面体をフレームにあるスリット的位置に合わせて差し込みます。(上記の取り外し方法を参照) (③④)
- ・上記を反対側で繰り返します。これで面体の両側で固定されるため、前から見るとフレームとウィンドウの間にまだ隙間がある状態となります。(③)
- ・この状態でカチッと音がするまで面体をフレームのレバーに押し込みます。カチッと音が聞こえたら面体の取り付けが完了となります。



11. 規格

本製品は、ANSI Z87.1+Sに準拠して設計されています。
本製品は、ASTM F2178に準拠したATPV20 cal/cm²の検査を受けています。
(NFPA 70E:2015に準拠したPPEカテゴリ2)。

※製品に関するお問い合わせ

YK 山本光学株式会社

〒577-0056 大阪府東大阪市長堂 3-25-8
本社 TEL 06-6783-1101 東京支店 TEL 03-3868-5503
URL <https://www.yamamoto-kogaku.co.jp>